

# 小中学校のトイレへの生理用品配備に光明

新日本婦人の会などの女性団体が市に対して求めている「小中学校のトイレへの生理用品の配備」について、「みらい」の高山優子議員が前回に引き続いて今議会でも実施を求めました。

教育委員会は、当初「あくまでも保健室での指導や相談とともに配布したい」「衛生

上管理が困難」「一般のトイレには配備されていない」などとする消極的な答弁を行いました。

しかし、市長はこの件について見解を問われると、「前向きに考えている」と積極的な姿勢を示し、前進する可能性を示唆しました。

# 「返済不要の奨学金 再来年度に制度化」

## 上野議員の質問に積極的答弁

### 就学援助の改善も検討へ

12月議会の一般質問4日目の10日、上野公悦議員は、子どもたちの学びの保障などについて質問を展開しました。

上野議員は、「市長は、『返済しなくてもよい奨学金制度を作る』と選挙戦で述べたが、公約として実行する考えか」とたどしました。

これに対して中川市長は、「コロナ禍で若者や子育て世帯



の負担が増してきているほか、市外に出た後、地元に戻ってくる若者が依然として減少していることに危機感を抱く中で、更なる支援が必要であると判断し、返還のいらぬ奨学金制度の創設を公約とした。新しい制度は、23年度からの実施を目標に、既に検討を始めている。経済的な支援に加えて、大学や専門学校の卒業後に当市で活躍していただきたいという観点から、幅広く検討したい」と答えました。これまで何度も質問しながら実現しなかった奨学金制度の改善は、大きく前進することになりそうです。

上野議員はまた、「就学援助制度の対象世帯の拡大を図るべきではないか」「援助対象費目は、国も対象に挙げているクラブ活動費やオンライン学習通信費、通学用品費、校外活動費も追加すべきではないか」とたどりました。

これに対して教育長は、「当市の対象世帯は他の多くの自治体と同じであることから、準要保護の対象世帯の拡大は考えていない」「援助費目については、1人1台の情報端末の積極的な活用を進めるため、オンライン学習通信費についての追加の検討を進めているが、他の支援状況等も勘案しながら必要性を精査して選定しているので、提案された他の費目を追加することは考えていない」と答えました。

そこで、上野議員は、特に援助費目について他市の例や必要性を指摘しながら、拡大を再度強く求めました。それに対して教育長は、「必要性を検証しながらさらに検討する」と柔軟な姿勢を示しました。

## 県が進める「地域医療構想実現に向けた今後の方向性」その問題点 ⑬最終回

県内の救急車出動件数・搬送人員は毎年増加しており、今後も増えると想定されています。また、このことは上越でも同様です。

①「県内救急業務の現況」(県防災局、'20年4月)から  
\*搬送される人は65歳以上が最も多く、全国平均より5ポイント高い。

\*救急車の出動件数、搬送人員とも「急病」が増加  
出動件数の急病割合  
2015年度 60.9%      2019年度 63.8%  
搬送人員のうち急病者  
2015年度 55,380人(搬送人員の62.1%)  
2019年度 61,126人(搬送人員の64.3%)

②「令和2年版消防年報」(上越市)から  
\*「急病」による救急車搬送4,930人のうち  
軽      症 : 2,257人(45.8%)  
中等症以上 : 2,673人(54.2%)  
(入院割合も高いと推測される)

\*時間帯別救急搬送件数は、夜間が半分。  
0時～ 8時:25%      夜間の救急受入  
8時～16時:42%      れ体制と入院可  
16時～24時:33%      能な病床が必要

【竹島良子前県議のまとめ】

- ① 県は、医療の「効率化」を図るため、病床削減と手術・救急の集約を進めようとしているが、集約化では地域医療は改善されない。医師を増やし、全体の医療体制の底上げこそ必要。
- ② 県内ではすでに大病院と小規模病院の役割分担が進んでおり、小規模病院は後方支援病院としての機能や在宅医療の機能を果たしている。大病院だけで、救急医療から在宅医療、介護への連携体制をつくることはできない。「地域包括ケアシステム」を本気で構築するには、大病院と中・小規模病院、診療所との連携がスムーズに図れる体制と関係性をつくるのが大事。
- ③ 夜間も含め、増える救急搬送(急病)に対応できる医療体制が必要。この点でも大病院への一極集中では、解決できない。県立の小規模病院が救急病院として機能することが重要。
- ④ 病院の再編・統合や診療所化で地域の病院がなくなることは、若い人が職場を失い、地域の商店などがなくなることにもつながる。地域経済への影響も大きいことを認識すべきである。

日本共産党上越市議員団ニュース  
No.733 2021年12月19日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))

上越保健所管内感染症患者発生状況  
(12月10日現在)  
PCR検査実施件数 17,921件(前週+127)  
管内陽性件数 343件(前週±0)  
上越市内陽性件数 306件(前週±0)  
陽性率 1.914%(前週1.928%)